

TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局：TBS	番組名：報道特集	放送日：2019年9月28日
<p>出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、宇内梨沙 川端恵美子（ヤングケアラー問題を取材した記者）</p>		
<p>検証テーマ： 関西電力経営陣に 3 億円相当の金品、オープニング、香港情勢、増税前の最後の週末 両陛下が国民体育大会に、佳子さまが砂の美術館に、日韓交流おまつり 2019 【特集】 大停電で奪われた命</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関西電力経営陣に 3 億円相当の金品 ・ オープニング ・ 山梨県のキャンプ場行方不明から一週間 ・ 静岡市の東海道線で 3 歳男児が列車にはねられ死亡 ・ 埼玉県の 3 億 6000 万円盗難事件で現金がほぼ手つかずの状態で見つかる ・ 台風被害のマザー牧場が営業再開 ・ 昨年 8 月の群馬県防災ヘリ事故の現場で慰霊登山 ・ 香港情勢 ・ 増税前の最後の週末 ・ 韓国でタンカーが爆発炎上 ・ 両陛下が国民体育大会に ・ 佳子さまが砂の美術館に ・ 日韓交流おまつり 2019 ・ 【特集】 大停電で奪われた命 ・ 【特集】 ヤングケアラー問題～英国では ・ スポーツ報道 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <p>・ 関西電力経営陣に 3 億円相当の金品：結論→特に問題なし</p> <p>関西電力経営陣に 3 億円相当の金品が渡されたことについて以下に朱記したように取り上げられていた。</p> <p>ナレ「関西電力の経営幹部ら 20 人が原発が立地する福井県高浜町の元助役から合わせて 3 億 2000 万円分の金品を受け取っていた問題。元助役に 3 億円を提供した建設会社は原発関連工事の受注により売上高を 5 年間でおよそ 6 倍伸ばしていたことがわかりました。関電は 2018 年までの 7 年間に八木誠会長や岩根茂樹社長を含む役員ら 20 人が原発がある高浜町の森山栄治元助役から合わせて 3 億 2000 万円分の金品を受け取っていたことを明らかにしました、関係者によりますと金沢国税局の調査で森山本助役には地元の建設会社吉田開発から受注の手数料としておよそ 3 億円の資金が渡っていたということです。民間の信用調査会社によりますと吉田建設は高浜原発などの関連工事を請け負っていて 2013 年の売上は 3 億 5000 万円でしたが去年の売上は 21 億 8000 万円と、およそ 6 倍に増やしていたことがわかりました。」</p> <p>高浜町の住民「やっぱり吉田開発の役員をされているから吉田開発の仕事を取らないと自分の取り分がないから</p>		

吉田開発を使ってくれという意味で。」

ナレ「この問題を受けて、経済産業省は今日、電気事業法に基づき関電に対し他の類似事案がないか調査するよう命じました、関電はできるだけ早い時期に報告書を提出することを決めましたが報告の期限や問題があった7年間からどこまで遡るかについては決まっていないということです。また金品を受け取っていた20人は原子力事業に関する部署の幹部が多く、今年6月まで原子力本部長だった豊松元副社長が最も多かったということです。」

このトピックについて当てられた時間は122秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・オープニング：結論→特に問題なし

番組のオープニングで金平キャスターが「関西電力の歴代トップが原発立地先から3億2000万円もの金品を受け取っていたことが明るみに出ました、一時的に個人の管理下で保管していたと関西電力は釈明してましたが、それで済むのなら泥棒も皆一時的に保管していたというでしょう、ふざけるなど申し上げておきます。」とコメントしていた。このトピックについて当てられた時間は21秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・香港情勢：結論→特に問題なし

スタジオの膳場キャスターの「香港は民主的な選挙の実現を求めた雨傘運動から今日で5年を迎えました。夜には民主派による大規模な集会が計画されていて警察との衝突も懸念されています。」というコメントを受けて、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

ナレ「政府や警察への抗議活動が三ヶ月以上続いている香港では、中国建国70年を迎える来月1日にかけて連日、抗議デモや集会が計画されています、今夜には雨傘運動が始まって5年となるのを記念する大規模な集会が予定されていて一部の参加者が過激な行動に出て、警察と衝突する恐れがあります。」

"森岡紀人（報告）「雨傘運動の元リーダー、黄之鋒氏が区議会議員選挙に立候補するというのでこの出馬会見に大勢の人達が集まっています。」

黄之鋒「私は11月の区議会議員選挙に立候補することをここに表明します。」

ナレ「香港の区議会選挙は民意が反映されやすく政府への抗議活動が続く中民主派が議席を伸ばすと見られています、しかし当局が黄之鋒氏ら民主派の立候補を認めない可能性もあり、その場合は市民からの大きな反発が出ることも予想されます。」

このトピックについて当てられた時間は83秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・増税前の最後の週末：結論→特に問題なし

スタジオの日下部キャスターの「消費税引き上げ前、最後の週末を迎え家電量販店はテレビや冷蔵庫など高額商品を買いたい求める駆け込み需要が起きています。」とのコメントを受けて、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

梅田翔太郎（報告）「増税前、最後の週末ということもあって、午前中にも関わらず多くの人で賑わっています。」

ナレ「家電量販店のビッグカメラでは今月に入り洗濯機や冷蔵庫などの売上が2倍以上に増えました、さらに、20万円台の有機ELテレビの販売は前の年と比べておよそ4倍に伸びたということです。」

客A「エアコンと冷蔵庫、と自転車。」

客B「もう最後の土日なのでやっぱりこれが最後かなと思って。」

斎藤俊明さん（ビッグカメラ）「出勤の人数は多くしましてお客様の受け入れ体制は整えております」

ナレ「民間の調査によりますと、先週、家電量販店などで販売されたテレビやパソコンなどデジタル家電の台数は前の年と比べて13.1%増えました。調査したBCNは駆け込み需要は5年魔の増税のときより今のところ小さいが、最後の週末で伸びると見ている、としています。」

このトピックについて当てられた時間は78秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・両陛下が国民体育大会に：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「天皇皇后両陛下が即位後初めて国民体育大会に出席されました。」というコメントを受けて以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

ナレ「天皇皇后両陛下は茨城県ひたちなか市で開催された国民体育大会の開会式に出席するため、午前11時半過ぎに特別列車で勝田駅に到着されました。駅前には多くの人が訪れ両陛下はにこやかに手を振られました。」

天皇陛下「この大会に参加する皆さんの中から、来年の東京オリンピックにおいて活躍する選手が数多く誕生することを期待しております。」

ナレ「開会式の冒頭、航空自衛隊のブルーインパルスが祝賀飛行を行い、両陛下は選手団が入場するたびに盛んに拍手を送られました。また開会に先立ってマーチングバンドの演奏なども披露され両陛下は楽しそうに鑑賞されていました。」

このトピックについて当てられた時間は58秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・佳子さまが砂の美術館に：結論→特に問題なし

佳子さまについてナレーションで「一方秋篠宮家の次女、佳子さまは今日午後、鳥取県入り鳥取砂丘の砂の美術館を視察されました、館内には南アジアの様子を再現した砂像が展示されていて、佳子さまは素晴らしい作品を見ることができました、と興味深そうにご覧になっていました。佳子さまは明日、全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開会式に出席し手話を使ってお言葉を述べられます。」と伝えられた。このトピックについて当てられた時間は29秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・日韓交流おまつり 2019：結論→特に問題なし

日下部キャスターの「日韓関係が冷え込む中、東京の日比谷公園では両国の文化交流を目的とした毎年恒例のイベントが開幕し賑わいを見せています。」というコメントを受けて以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

ナレ「両国の伝統楽器をともに演奏して幕を開けた日韓交流おまつり2019、韓国のナムグアンピョ駐日大使は問題があれば互いの立場を尊重し、解決できるよう務める、と挨拶しました。」

ナムグアンピョ駐日大使「両国は難しいことがあるたびに知恵を持って克服し、協力してきた歴史があります。」

ナレ「会場には、代表的な韓国料理の屋台が軒を連ねた他、民族衣装をきるコーナーには長い行列ができていました。」

韓国人来場者「いいことだと思います。」

日本人来場者「押し付けがましくならないように、交流のこういう場所を作るってのがすごい大切じゃないのかなって思うのは思っています。」

ナレ「運営側によると来場者数は過去最多となった去年に居並ぶ見込みだということです。」

このトピックについて当てられた時間は77秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【特集】大停電で奪われた命：結論→特に問題なし

スタジオで膳場キャスターの「特集は今も影響が続く千葉県の大停電です。現地では猛暑の中、熱中症で倒れる高齢者が相次ぎ、3人の方がなくなりました。」というコメントに金平キャスターが「なぜ命は奪われたのか。そして千葉県などの対応はなぜあれほど遅れたのか。取材しました。」と応えるのを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

テロップ「昨日始まった千葉県議会の代表質問。台風15号の初動対応について問われた森田健作知事は。」

森田知事「大規模停電が発生したこと等を受け、各部局で情報収集と応急対策の検討を進めました。」

テロップ「県の対応は適切だったのか。知事に直接聞いた。」

金平「今の県議会で、答弁聞いてましたけれども、初動体制は問題は無かった遅れは無かったという認識ですか？」

森田知事「そうですね、やっぱりいろいろと、ご存知の通り電力もいろいろあって、県もそうですけれども、各市町村も混乱があったのは事実ですね。」

金平「初動については遅れは無かったという認識ですか？」

森田知事「県としては無いと思っています。」

金平「ない？」

ナレ「台風が接近していた8日の夜、森田知事は東京都内で国際会議に出席していた。」

金平「8日の夜の夜にですね、東京都内の国際会議とか、レセプションに出席なさっていたのもあれも問題がないという？」

森田知事「問題が無いっていうか、あれはあの、情報収集をしている段階において、またいろんなどうやって手を打つか。」

金平「それは情報収集を常にやりながら、あそこにいたということですね？」

森田知事「官邸とも連絡を取りながら」

ナレ「停電が続く中、県が備蓄する非常用発電機の半数以上倉庫などに置かれたままだったことにも批判の声が挙がっている」

金平「人命最優先ということもおっしゃっていたんですが、あの一県庁にですね、発電機がえいかなりの数留め置かれていたことについてはどうお考えですか？ どういうふうにお考えですか？」

森田知事「ベストを尽くしています。ベストを尽くしていますから大丈夫です。」

金平「何が大丈夫なんですか？」

ナレ「停電で、冷房が止まり、熱中症とみられる死者が出た。命を救うことはできなかったのか。」

〔CM〕

ナレ「大規模な停電が続いた千葉県南房総市。角田栄さんの母、タカさんは、今月10日、熱中症で死亡した。93歳だった。」

スタッフ「タカさんはここに？」

角田さん「入れる。入れるんだけど、まだ葬式が済んでないから入れられないと」

ナレ「タカさんは、このプレハブで一人暮らしをしていた。・息子2人は、近くの街からかよって、食事などの面倒を見ていた。」

角田さん「カビが生えちゃってる。」

ナレ「遺品を整理していたのは、次男の茂さん。タカさんが無くなった日この地域の最高気温は、32.7℃。湿度は85%だった。」

茂さん「当日もすごく暑いだよ。車入れて、あげてたんだよ。冷やしてた。」

ナレ「プレハブに、あったエアコンや扇風機は停電で使えず、茂さんは、冷房がきいた車の中にタカさんを避難させていた。」

ナレ「しかし、台風で被災した自宅が心配で、タカさんをプレハブに残して一旦帰宅。少したって戻ってみると、…」

茂さん「もう駄目だったんな。だって口から泡を吹いていたからダメだった。熱中症ってわけだ。」

スタッフ「避難とか、促してたりとかしなかったんですか？行政が」

茂さん「知らねえよ。おめえ」

ナレ実は、南房総市は避難所を7か所の開設。していた。中には早めに停電が復旧し冷房が聞いていたところもあったが、近くに住む人は・・・」

スタッフ「発生直後なにかその行政から発生した、情報ってのを耳にしたりというのを合せられた情報は耳にしていたのはありましたか？」

"吉野みち子さん。「うーん、なかったですね」

「私の脳裏には残ってません。」 "

ナレ「市は、当初、防災無線で情報を発信しようとしたが、機材が使えない地域があった。」

庄司武史（南房総市消防防災課課長）「停電によりました、電力喪失ということでまあ中継局に電気がいなくなってしまって、各戸に配備されている個別受信機とまたは屋外に立っているスピーカーが使用できない状態になりました。」

ナレ「このため、市は急遽、広報車や消防車を走らせ、避難を呼びかけたが・・・」

スタッフ「市の広報車、車でスピーカーでアナウンスしたらしいんですけど、」

"広報車が通った地区の住民「よくわかんないですね。はい」

スタッフ「聞こえなかった？」

広報車が通った地域の住民「そうですね」 "

ナレ「たかさんが暮らしていた地区の避難所に避難した人はいなかった。」

"庄司課長「主な道をぐるっと回っておりまして、1回しか回っておりませんので、まあそのすべての人に届いたかどうかという、残念ながら100%の人に伝わったということはないかねというようには考えております。停電ですとか断水というような、今までになかったような要因が出てきてしまったっていうことが、非常に大きい課題になってしまったと思います。」 "

"膳場「あぁごめんくださいTBSの報道特集の膳場と申します。よろしくお願ひします」

男性「渡辺と申します」 "

ナレ「木更津市に住む、渡邊幸也さん。吉備津市の特別養護老人ホームに入所していた母のりこさんは、停電から4日目の今月12日、亡くなった。82歳だった。」

渡邊「亡くなった直接原因は心不全という形になったんですけど、熱中症が引金になったんだろうという説明を主治医からは受けました。」

ナレ「涼しくなったら、自分の兄弟たちと寿司を食べに行くことを楽しみにしていたというが、それもかなわなくなってしまった。」

"渡邊さん「この熱中症でまさか亡くなっちゃうとはちょっと思っていなかったんで、ちょっとその辺は・・・非常にくやしい思いをしています。まだ、母が亡くなったことの実感がいまいち、湧かないというか・・・今日の施設の予定、母を見に行こうかな一つ間違っちゃって、思ったりしちゃって、ああもう母はいないんだということであらためて思ったりして。」 "

ナレ「およそ100人が入所するこの施設。なかで何が起きていたのか。」

ナレ「ここは、災害時特別な配慮が必要な高齢者などを受け入れる福祉避難所に指定されている。停電後、非常用の自家発電機を20台かき集めて対応にあたっていたという。」

膳場「あーそっから管が通してらっしゃいますものね。その機械がお部屋のあちにあるあれですか。」

ナレ「酸素吸入器が必要な入所者が当時3人いたので、発電機が一人につき一台は欠かせない状態だった。」

膳場「もうこれ命に直結しますよね。」

所長「そうなんです。これがなくなると、とりあえずは酸素ボンベもあるんですけども、これは予備的な考え方で、何かあった時はという感覚で最初みていたので、すぐにここに発電機を入れました。」

ナレ「数に限りがあったため、エアコンに使える発電機は残っていなかった。」

特別養護老人ホーム「夢の郷」天笠 寛理事長「そこまでの台数はもちろん足りないんですね、優先順位の高いところからということで発電機は使ったんですね。重要な例えばお薬の入った冷蔵庫だとか、そういったことを優先順位たかくして、いましたので、大したことができなかったというのが、本来ですかね。」

ナレ「エアコンを稼働させるために必要だったのが、電気を供給する電源車だ。高圧の電源車は、一台で大規模な施設にも対応できる。停電2日目の10日、君津市の職員から問い合わせがあり、施設は電源車が必要だと訴えたが、すぐには、到着しなかった。渡邊さんの容体が急変したのは、その翌日、11日の事だった。その日の介護記録には、こう綴られている。」

介護記録「朝食拒否、牛乳一口のみ摂取。フロアにて、車いすに座っているが、体が傾いているのを発見。声掛けする。顔色悪く、唇チアノーゼ。体温38.8℃。」

ナレ「すぐに入院したが、翌12日に亡くなった。その日施設に経済産業省から電話があったという。」

天笠理事「どういう状況ですかと聞かれ、実は亡くなっているかたもいらっしゃるということをいったら、あっということは優先順位高いですねとそこで言われたの。」

ナレ「その後、13日未明ようやく電源車が到着した。」

天笠理事長「なんで福祉避難所なのに、電源車を早く送ってくれないんだろうっていうその、クエスチョンが頭の中を走り回って、困ってる方を、入ってもらって、うちのほうでいろんな面倒を見させていただくというのが、流れの中にあるのになんでそれなのに早く整備してくれないんだろう。」

ナレ「おととい、天笠理事長は、君津市役所を訪れた。」

天笠理事長「なんで1日でも1時間でも早く配備してくれればなあというような思ってたんで、いち早く対応ができるような方法を今後は、よく考えていただきたいなというふうにお願いしたいなと」

ナレ「面会を終えて、」

膳場「えっと市に要望を今」

天笠理事長「ちょっと甘かったのではないかなというふうに私はね、日ごろその、状況をもう少し把握してもうすぐにどこが必要なんだというのを、まあ最初の初期段階の把握でのが、日ごろからできているのが本来ではないかな思うんで」

ナレ「一方電源車を巡っては、東京電力が十分な台数を準備しながら、ほとんどの要請にこたえていなかったことが、我々の取材で明らかになった。停電から3日目の11日には、東電や他の電力会社の電源車が、325台準備されていたが、200件ほどの要請に対し、24台しか稼働していなかった。渡邊さんが亡くなった12日の午後3時時点でも、稼働はわずか43台。その後も半分以下の稼働にとどまった。」

ナレ「その理由について東電は」

東京電力「復旧の見通しが甘く、要請があってもすぐに復旧すると考え、配備を見送るケースもあった。」

ナレ「この見通しの甘さが、君津市の電源車要請の判断を遅らせた。市内の停電が10日に99%復旧するとの

東電の発表を基に、11日まで要請をしていなかったのだ。」

膳場「東電の見通しに基づいて、立てていたわけですよね？」

占部和裕（君津市危機管理課課長）「やっぱりのその私どもがね、対応に大きく影響を受けたと思ってますから、まあその辺についての情報の発表のしかたについてはですね、やはりもう少しこう、正確に発表していただきたかったと」

ナレ「東電の復旧見通しの甘さについて、母を失った渡邊さんは」

渡邊さん「甘い見込の発表によって、命を落としていく人ができちゃっているわけですよね。その辺を軽率に発表しちゃうことの重さというのをちょっとこれから東京電力に考えてほしいと思います。」

ナレ「東電の発表について、千葉県の見解を聞いた。」

金平「東電のそういう対応ってのは、県の対応に影響を与えましたか？」

萬谷至康（千葉県災害対策本部事務局長）「まあ、影響がないといえようそになると思うんですが、まあその都度、その都度、変わる対応、状況に、対応しつつ、今日まで至ったという状況ですね。まあ現実的にですね、東電さんも自衛隊とタグを組んで、伐採もやってる。現場も私いった事あるんですが、まあ東電さんなりに頑張っているところもありますので、ちょっとその辺はやはり、誰にも見通しできなかつたものではないかなと1。そう捉えざると得ないと。気持ちでいます。」

ナレ「一方、県が備蓄する非常用発電機の多くが使われていなかったことについては」

萬谷事務局長「県の備蓄ってのは元々、市町村が持っている備蓄に不足が生じた場合とか、まあ何らかの理由ですね、使えなくなっちゃったとか、そういうときのための場合のバックアップという形で、備蓄しておりました、なぜその要望が無かったのかっていうのは、その時の状況を個々にヒアリングしてみないとちょっと分からない。」

[CM]

特集のVTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

膳場「あのお母さまを失くされたご遺族や、特養の理事長、そして対応にあたった市役所の職員、共通しておっしゃるのが、東京電力が早い段階で停電の長期化を周知してくれていたならば、対応は全然違ったと。そしてね被災者の中には、電柱が何本もなぎ倒されているのを見れば、東電がというような、数日で復旧なんてのは、ありえないと素人目にも分かったと。それを風におっしゃる方何人もいらっしゃいました。あの災害時の情報ってのは、人の命を左右するんだということ。本当に肝に銘じてほしいなと思いました。」

日下部「あの一VTRを見ていてね、行政の人たちの現場意識っていうんですか。非常にこの希薄な感じがしましたね。まあ事前のね、台風情報では、記録的な暴風雨が首都圏にやってくると、なんども注意呼び掛けていたわけですし、去年は関西でね、大きな被害が出たわけですから、いろいろこう学ぶことがあったと思うんですけどね。」

金平「森田千葉県知事はですね、初動体制に遅れは無かったというふうに言っていましたけども、なぜそう言い切れるのかということについてはですね、納得できる説明は得られなかったですね。あの一私たちメディアも初期段階ですね、十分な報道ができていなかったという反省があるんですけども、だからこそ何で、被害がこういうふうに広がったのかということをきちんと検証する必要がありますよね、で、県の災害対策本部の説明で気になったのはね、ずっと東京電力のことを東電さん東電さん。さんづけで言っているんですよね、そのあたり、ある種の力関係を見せつけられたような気がしてただ、責任回避に動くだけではですね、何も教訓が得られないなというふうに感じましたですね。」

このトピックについて当てられた時間は1225秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・ オープニング

金平キャスターの「関西電力の歴代トップが原発立地先から 3 億 2000 万円もの金品を受け取っていたことが明るみに出ました、一時的に個人の管理下で保管していたと関西電力は釈明してましたが、それで済むのなら泥棒も皆一時的に保管していたというでしょう、ふざけるなど申し上げておきます。」というコメントは大変勇ましい批判であるが、同業者や自社の不祥事があった場合もこうした勇ましさを発揮してもらいたいものだと期待している。

・ 日韓交流おまつり 2019

日本人来場者が「押し付けがましくならないように、交流のこういう場所を作るってのがすごい大切じゃないのかなってというのは思っています。」とコメントしていたが、まさしくそのとおりでと思った。

・【特集】大停電で奪われた命

スタジオで金平キャスターが「県の災害対策本部の説明で気になったのはね、ずっと東京電力のことを東電さん東電さん。さんづけで言っているんですね、そのあたり、ある種の力関係を見せつけられたような気がしてただ、責任回避に動くだけではですね、何も教訓が得られないなというふうに感じましたですね。」とコメントし、東京電力のことを「東電さん」とさんづけで言うことから「ある種の力関係」を感じ取っていたが、それは流石に勘ぐり過ぎではなかろうか。法人のことを略して呼ぶ時にさんづけになるというのは世間一般でもそう珍しいことではないように感じる。

また、日下部キャスターは「あのVTRを見ていてね、行政の人たちの現場意識っていうんですか。非常にこの希薄な感じがしましたね。」とコメントしていたが、検証者個人としては、行政の方々の現場意識がそこまで希薄であるような印象は受けなかった。

ところで、金平キャスターは電力会社に対して非常に辛辣であるが、その辛辣さから、なにか個人的に恨みでもあるのだろうか、という印象を受けた。昔からそうした姿勢だったのか、それとも 3.11 以降のことなのだろうか。金平キャスターの昔の論調がどうだったのか、気になるところである。